

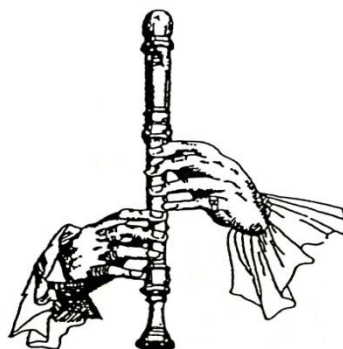
令和3年11月

各位

全日本リコーダー教育研究会

会長 後藤 俊哉

第43回 全日本リコーダーコンテスト 参加要項



期 日	令和4年3月27日(日)
主 催	全日本リコーダー教育研究会
後 援	東京都教育委員会
(申請予定)	江戸川区
	全日本音楽教育研究会

I 目的

このコンテストは、演奏および鑑賞をとおして、参加団体の親睦とリコーダーに関する研究活動を盛んにし、その普及と向上発展に役立てることを目的とします。

II 日程

令和4年3月27日（日）

※今大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全団体録音審査（無観客）といたします。審査は上記日程で行い、審査結果は当日中に当研究会ホームページに掲載いたします。録音については別紙「審査用録音データについて」をご参照ください。

III 参加規定

1 参加部門

- ① 小学生の部 ② 中学生の部 ③ 高校生の部 ④ 大学生の部 ⑤ 一般の部

2 編成区分

- ① 独奏（伴奏を付けても可。伴奏は指導者でも可）
② 重奏（ア、二重奏 イ、三重奏 ウ、四重奏 エ、五重奏以上）
③ 合奏（同一パートを2名以上で吹く場合はこの区分になります）

※リコーダーを中心とした編成を原則とします。

※合奏以外は、指揮者をおくことはできません。

※同一人物が①～③の同じ編成区分で重複して出場することはできません。

例：Aさんが、二重奏と四重奏に出場＝不可

例：Aさんが、小学校合奏と一般合奏に出場＝不可（団体名が異なっても不可）

※編成区分等がわからない場合は、必ずお問い合わせください。

3 出場資格

(1)全日本リコーダー教育研究会の会員が主催するコンテスト大会等において推薦を受け、出場資格を得た個人または団体

(2)各部門の参加資格は次のとおりとします。

- ① 小学生の部…構成メンバーのすべてが小学生以下であること。
② 中学生の部…構成メンバーのすべてが中学生以下であること。
③ 高校生の部…構成メンバーのすべてが高校生以下であること。
④ 大学生の部…構成メンバーのすべてが大学生以下であること。
⑤ 一般の部……構成メンバーは、当該団体の団員であること。職業演奏家でないこと。

※メンバーの最年長の者の部門に出場するものとします。

例：小中一貫校で、小学生と中学生と一緒に参加する場合＝中学生の部への出場は可

※児童・生徒・学生以外が一人でも参加している場合は、一般の部となります。

例：教員が指揮・伴奏以外で演奏に加わる場合（打楽器など）＝一般の部

※学校名参加の場合は学校長・学園長の同意書が必要です。（①～④の部門に、個人名や「〇〇アンサンブル」などの名前で参加する場合は不要です。）

※複数校での参加も可。ただし上記①～④に準じます。

4 出場制限

- (1) 同一団体名で参加できるチーム数は、3チーム以内とします。
- (2) 同一人物の同一編成区分での重複出場は不可とします。(上記Ⅲ 2 の※参照)
- (3) 出場資格を満たしていない個人および団体は出場できません。(上記Ⅲ 3 参照)
- (4) 地区大会参加者(地区大会プログラム掲載者)以上の増員、変更等は認めません。
(各地区予選のプログラムは、地区事務局より提出されています。)

5 演奏曲

- (1) リコーダーのオリジナル曲もしくは、リコーダーを主たる楽器として編曲された曲。
- (2) 編曲等された場合、著作権所有者の許諾を得ないまま演奏はできません。

※制限時間内であれば、数曲演奏されても可です。

※編曲等をされる場合は、必ず作曲家または出版社に許諾を得てください。

編曲許諾は録音審査の場合も必要です。

※申込時、組曲及び楽章がある曲については、どの箇所を演奏するかを明記願います。

6 演奏時間

6分以内。時間超過は審査対象から外し「失格」とします。(全部門・全編成区分共通)

※演奏時間＝曲の初音が鳴ってから演奏終了まで。曲間も含みます。録音審査の音源も同様です。

7 賞について

- ① 金賞・銀賞・銅賞…全団体に、審査の結果いずれかを贈ります。
- ② 指導者賞…各団体の指導者に贈ります。(申込時に申請した方に授与いたします。複数団体を指導されている方に対しては原則として最年少部門の人数の多い団体名で贈ります。)
※指導者賞の授与について、1プログラムで複数名の申請はできません。
- ③ 花村賞…金賞受賞団体の中から、各部門内で特に優れた団体に贈ります。
- ④ 徳山賞…初出場の団体に贈ります。(統廃合等で校名等が変更した場合も初出場とします。申込時に申告した団体に授与いたします。)

8 出場に必要な費用

(1) 参加費(全部門共通で、1ステージごとに必要です。合奏は人数により金額が異なります。)

- | | |
|----------------|----------|
| ① 独奏 | 8,000 円 |
| ② 重奏 | 15,000 円 |
| ③ 合奏(20名以下) | 25,000 円 |
| 合奏(21名以上30名以下) | 35,000 円 |
| 合奏(31名以上) | 40,000 円 |

※指揮者は合奏人数に含みません。(指揮者が音を出して演奏に加わる場合は含みます。)

(2) コンテスト参加登録料(1団体名ごとの登録となります。)

1団体 3,000 円

※同一団体名で複数出場する場合は、まとめて3,000円です。

9 パンフレット代金(希望者のみ)

今大会に限り、参加者(演奏者・指揮者・伴奏者)全員に1部ずつ記念として進呈いたします。
追加で購入する場合のみ、申込フォームに必要部数をご記入ください。(1部600円)

10 レプリカ賞状代金（希望者のみ）

希望者に対し、一般賞状（上記7①）のレプリカ（A4サイズ）を有料で配付いたします。

申込フォームに必要な枚数をご記入ください。（1枚150円）

※団体名・曲名・作編曲者名・出演者の氏名（合奏以外）が載ります。

※レプリカは金・銀・銅の賞名部分は空欄でお渡しします。各団体でご記入ください。

※指導者賞・徳山賞・花村賞のレプリカは作成いたしません。

11 参加申し込み方法

下記の(1)ネット申込 (2)書類郵送 (3)費用振込 を、すべて申込期間中に送付してください。

申込期間：令和4年2月1日（火）～2月10日（木）24時 郵送は消印有効

(1)インターネットを通じての申し込み（2月10日の24時まで）

1 ステージごとに、全日本リコーダー教育研究会 HP の申込フォームに必要な事項を記入し、送信完了してください。

※申込フォームは2月1日に開設します。

※申込フォームにアクセスするためには、パスワードが必要です。本大会への推薦を受けた団体には、各予選大会事務局よりパスワードが通知されます。

※原則として、送信後は申込内容の変更はできません。最後の内容確認画面をしっかりとチェックしたうえで、送信完了ボタンを押してください。（完了ボタンを押すまで送信されません。）

※申込フォームは締切日の24時に閉鎖します。それまでに必ず送信完了してください。

(2)必要書類等の郵送（2月10日の消印有効）

次の①～⑥をそろえて、下記の宛先へ郵送してください。

①賞状等送付用の封筒…角2封筒（A4サイズ）、250円切手を貼付。表面に、郵便番号、住所（都道府県名から）、団体名、申込者氏名を記入。

※封筒下部に学校名等が印刷されていても届きません。必ず宛名欄に記載してください。

※同一の宛先の場合は、まとめてかまいません。その場合は団体名を併記してください。

②使用する楽譜の出版社名、作曲者名、編曲者名がわかるページのコピー（A4サイズ）

③参加費等の振り込み控えのコピー…添付用紙を HP からダウンロードし、貼付してください。

④学校長・学園長・学部長の出場同意書…HP からダウンロードし、記入・押印してください。

※学校名で出場する団体のみ必要です。個人名や独自の団体名で出場する場合は不要です。

※複数校で合同出場する場合は、すべての学校の出場同意書が必要です。

⑤編曲許諾書のコピー…出場団体で編曲して演奏する場合、著作権所有者の許諾が必要です。許諾書の書式は問いません。著作権所有者が編曲・演奏を認める旨がわかれば結構です。

※編曲については、後述の「14 著作権についての注意事項」をお読みください。

⑥パンフレット等送付用の宛先を記したシール…名刺大サイズまで。裏面に団体名を記入。

郵送先 〒214-8799 登戸郵便局留 全日本リコーダー教育研究会 漆畑友美

(3)参加費等の振り込み

諸費用（上記Ⅲ 8・9・10 参照）を、下記の口座へお振り込みください。

銀行名：三菱UFJ銀行 大山支店 普通預金 店番号187
口座番号：0648199
口座名義：全日本リコーダー教育研究会 会計 井戸正利

※確認時の便宜のため、振込名義＝団体名にしてください。

12 録音データ送付方法

1 ステージごとに、審査用の演奏録音データを、録音データ締切日までに送付してください。
録音データについての詳細は別紙「審査用録音データについて」をご参照ください。

録音データ締切日 令和4年3月21日（月祝）24時

13 その他

- (1) 申込後の申込内容の変更は受け付けません。
- (2) 申込や録音についてご不明な点があれば、まずメールにてお問い合わせください。
- (3) 申込フォーム送信後の自動返信メール、また録音データ送付後の受領メールがなかなか届かない場合はメールでお問い合わせください。
- (4) zen.rikoken@gmail.com からのメールを受信可能（迷惑メール除外リストに追加するなど）にしておいてください。
- (5) 納入された参加費等は、いかなる場合にも返金いたしません。
- (6) 大会パンフレットと領収書は、3月中旬頃に発送予定です。
- (7) 賞状・講評用紙・花村賞トロフィー・審査結果一覧は、後日発送予定です。審査結果は当日中にHPにも掲載し、メールでもお知らせいたします。

14 著作権についての注意事項

作曲者の死後 70 年を経っていない大半の作品には著作権が存在します。（太平洋戦争前又は戦争中に連合国民が取得した著作権については、通常の保護期間に最長 10 年程度が加算されます。）

大会当日の演奏に関する著作権使用料は JASRAC の管理ですが、編曲に関しては、著作権の所有者（作曲者やその親族、出版社など）が権利を有しています。

そのため、録音審査の場合、演奏に関する著作権使用料は不要ですが、編曲許諾は必要です。

(1) 著作権の存在している曲を、編曲して演奏する場合

- ① 出場申込み前に、著作権の所有者に編曲・演奏許諾の申請をし、許諾を得てください（まずは出版社に連絡してみてください）。
- ② 許諾書のコピーを他の必要書類とともに郵送してください。許諾書の書式は問いません。

※市販の楽譜に記譜された音・音域を変えて演奏することは編曲となります。

例：S と T を重ねる。B のパートに CB を重ねる。←合奏部門団体は要注意

例：リコーダー以外の楽器のために作曲された楽曲（弦楽、金管、合唱など）を演奏する。

※編曲を認めない作曲者もいらっしゃいます。許諾がないと当日演奏できない場合もあります。

※許諾がされていても、「演奏はコンテスト当日に限定する」などの制限がある場合、大会後に販売される CD 等への収録はできません。ご了承ください。

※編曲・演奏許諾に関して生じた問題は出場団体の責任で処理していただきます。

(2) 申込フォームへの楽曲情報の記入について

JASRAC への申請に必要な情報です。外国曲の場合は、必ず題名と作曲者名・編曲者名を原語で記入してください。楽譜に記載がない場合は調べて記入してください。(無記入の場合は申込みを受理しません。)楽章が分かれている曲は、どの楽章を演奏するかも記入してください。
※今大会では JASRAC 申請は行いませんが、審査のためにももれなく記入をお願いします。

【連絡先】

全日本リコーダー教育研究会 副会長 富山 和幸
〒350-1175 埼玉県川越市笠幡177
川越市立霞ヶ関小学校
TEL : 049-231-1303
(できるだけメールにてお問い合わせください)
Mail : zen.rikoken@gmail.com
HP : <http://www.zenrikoken.com/>